

柳家花緑のあなた好み 花緑さんの50演目解説コーナー！

どれが選ばれても、楽しんで演じます。
落語は、やってておもしろくなきゃ、
お客さんも聴いてつままないと思います。
これを見て選んでくれたら、最高です。
ありがとうございます。
感謝、感謝です。

柳家花緑



1. からめけ

私が9歳で落語を始めた時、一番最初に覚えた、与太郎噺。

2. 寿限無

「にほんごであそぼ」では、3分でやりました。ソニーからCDも出ています。
その日の気分でギャグを足したりするジャズっぽくやる噺。

3. 目黒のさんま

秋の噺ですが、私はこのネタが好きで、一年中やっていたい噺。お殿様のキャラは、志村けんさんのバカ殿のイメージです。

4. 野ざらし

小三治師匠に、私が前座の時に教わりました。その時に師匠に言われたこと「この噺は、その噺家のその時の実力が出るものだ、今、出来なければ、一度おくらにしとけ。」

5. 出来心

前座の時に、好きで2回に1回は、この噺を喋っていた。大好きです。
でも今でも、やってて満足がいきません。

6. まんじゅう怖い

この噺を、かる〜くおもしろくやりたいと思ってます。

7. 大工調べ

啖呵を切るところが、自分としては、もうひと工夫。イメージは、あります。やってやるぜっ！

8. 高砂や

この噺のバカバカしさ。なんとも言えません。

9. ^{どうかん}道灌

柳家の一門は、この噺を、基礎芸として、前座の最初に覚えます。でもこの噺いいっすよ。

10. ^{そこつながや}粗忽長屋

むずかし〜ねエ〜、この噺。でも何とかしたい。どうにかしたい。モノにしたい。粗忽長屋をちゃんとやれる芸人になりたい。

11. ためき

この場合、札、鯉、釜の3つを続けてやります。恩返しものの超大作。

12. 時そば

ザ・落語っていう感じです。そばを食べるシグサ、一度ある所でやったら、その音を聞いて、犬がそばまでクンクンと近よってきたことがありました。自慢です！

13. 長屋の花見

僕は貧乏を知らない。知らないけどどうでしょう…やっぱり知らないと出来ないかなあ？じゃ、出来るかどうかたしかめましょうか？

14. ^{はつてんじん}初天神

お正月の親子の噺。好きで一年中やっています。私がこの20年で、もっとも沢山喋った落語だと思います。

15. ^{ぶしょうどこ}不精床

この床屋さんに出てくる、不精なおやじをちゃんと演じきりたいなあ…。

16. 子別れ

出ました。人情話の決定番。上・中・下と通してやる訳ではありませんが、私のやり方は、中から入って間(あいだ)をちょいとはしよリィ〜の下(げ)に行くという感じで、熊五郎の人間の成長を描きます。

17. 青菜

この噺をおもしろい人がやると、すんごくおもしろい噺です。僕は、どうでしょうね…

18. ちりとてちん

よくやっていますよ〜私。やりすぎっ！

19. ^{おし つり}唾の釣

与太郎&釣りのおはなし。唾をあつかったものなので放送で出来ません。二ツ目ん時によくやりました。

20. ねずみ穴

兄弟の噺。どっしりとボリュームのあるはなし。やりごたえ有りって感じ。

きんしゅばんや

21. 禁酒番屋

お酒とお侍の噺。酔って行く描写、そして庶民と侍の距離感を出せば万々歳。

ふどうぼう

22. 不動坊

最近、やってて、これほど、おもしろい噺があるだろうかと思う噺。嫉妬深い男達が屋根へ上がって幽霊出します。

23. 片棒

さん喬師匠に二ツ目のころ、教わりました。ケチなおやじと三人の息子。やってて、すんごくウケる時と、そうでない時に別れる噺。

あたごやま

24. 愛宕山

亡くなった名人、古今亭志ん朝師匠に教わった噺。お稽古を師匠のご自宅につけて頂いて、目の前で演じて下さいました。そして、私も覚えて、また、ご自宅で聞いてもらいました。しっかり受け継いで行きますよ師匠！

みやとがわ

25. 宮戸川

この噺も大好きで、よくやってました。僕は、マンガに描いています。その滑稽さがお客様に伝わる時と伝わらない時がある。お花半七馴れ初めの一席。

ふなとく

26. 舟徳

これも「野ざらし」に続いて、小三治師匠に教わりました。20歳の時でした。その頃は、難しかったあ…。若旦那が船頭になる噺。舟を漕(こ)ぐ仕草がポイント。台詞と仕草と両方がうまくいかないと成功しないかなあ…。

しゅうろん

27. 宗論

正朝師匠に教わりました。おもオ～しろオ～イで～す。

つぼざん

28. 壺算

誤解土雲輔師匠より教わる。すばらしくおもしろい噺。水瓶を買いに行く噺。

29. 花見小僧

「お節徳三郎」の上(じょ)の部分です。下(げ)は「刀屋」と言います。小僧をかわいらしくやりたいと思ってやってます。

あけがらす

30. 明烏

若旦那、初めての郭。ひと場面ひと場面よく出来た噺。カットするところがないです。

31. たがや

馬桜師匠に教わりました。夏の噺。自分なりに色々ギャグをつけたりはずしたり、ニツ目から、色んなやり方をしている。両国橋の上で、たがやとお侍とのけんかです。

ぎおんまつり

32. 祇園祭

これも正朝師匠から教わりました。歯切れよく京都と江戸の祭りばやしを自慢しあう。江戸っ子の旅の噺。この噺をやる為に、京都へ祇園祭を見に行きました。

はんたいぐるま

33. 反対俵

文治師匠より教わる。あまりに自分流にしちゃったため、師匠に聞いてもらわずじまい。でも、ちゃんと教わりました。末広亭の楽屋の2階で教わったなあ…。

せい

34. そば清

橋家半蔵兄さんから教わりました。おそばを沢山食べるお噺。どーもっ！

あだうち

35. 宿屋の仇討

途中の江戸っ子三人と侍の緊迫感がやっててたまらない噺。あー寝たいなあ…。

うまやかじ

36. 厩火事

これも落語としてよく出来ている噺。男女の心理が良く出てる。長くやって行きたいネタ。

おみきどっくり

37. 御神酒徳利

この噺は、演者によって昔からやり方が違います。私は祖父小さんの形。八百屋さんのチャーミングなこと。

38. 紺屋高尾

大好き。好き好き人情噺。久蔵が高尾にほれるのさ〜♡
お江戸のラブストーリーです。

39. 堪忍袋

夫婦げんかの納め方教えます。みたいな噺。いや〜おもしろい。

ちょうたん

40. 長短

祖父はうまかった。この噺を芸にしたて上げました。気の短い人と長い人。このシンプルな噺の中に、色んな技術が盛りこまれています。

ぶんしちもっとい

41. 文七元結

三遊亭円朝作です。その昔から歌舞伎でもやってる人情噺。吉原のお上をやるのが難しい。身投げのシーンが見せ場。

42. ^{ねきゆう}猫久

2代目の柳家小さんからやっている、お家芸。しっかり受け継いで行きたいです。ちょっとかわった侍と、ちょっとやりかわった庶民が床屋で心がかよう瞬間がある。おもしろいし、難しいはなし。

43. ^{なかむらなかぞう}中村仲蔵

歌舞伎役者のおはなし。この噺をやって、お弟子さんが2人来ました。人情話です。

44. ^{ちや ゆ}茶の湯

この噺のドタバタ感がたまらなく好きです。以前、権太楼師匠のをお聴きしたけど、おもしろかったなあ…。

45. らくだ

この噺も好きですね。くず屋とらくだの兄貴のやりとり。長屋の衆が亡くなったらくだをどう思っていたか、だんだん色んなことが解って行く。個性的な噺。

46. 猫の災難

沢山あるは五代目小さんの十八番の一つ。花緑十八番になるまで、しつこくやって行きます。今は花緑十三番くらい。酒好きの男の噺。いい感じっ！

47. ナンパジジイ (作・鈴木聡)

映画ですね、これは。映画を一人でやってるって感じ。ボリューム有ります。体力いります。気力上げまくってやる噺。勿論、新作。鈴木さんいい噺書いてくれて、ありがとう。

48. 死刑台のカツカレー (作・鈴木聡)

これも鈴木聡の新作第二段。映画ね、これも。網走から北千住へゴ～！あなたは、最後の晩餐に何食べたい？ってえ噺。

49. おさよ (バレエ・ジゼルより)

クラシックバレエのジゼルです。それを落語にしました。この噺は自分で改作したんだけど、好きですねえ…。やってて楽しい。ソニーからCDになっています。やっぱり、ライブでやりたい噺。

50. 目玉 (作・山田洋次)

山田洋次監督が祖父に作りました。年々、やればやるほど、まだ、こんなやり方がある、あんなやり方があると、日々発見があります。ケチなおやじのすごい決断。ブラックユーモア最高。祖父は、この噺、やりにくかったって！僕は、やりやすく…なってきたなあ…。